

## 追加エピソード1

### ある母子の出来事

夫婦と1歳になる子どもの3人でのアパート暮らし。  
夫婦は結婚して豊田市に移り住んだことから、近くに頼れる家族や友人はいませんでした。

子どもが3か月になる頃から、市の保健師と主任児童委員が定期的に家庭訪問を行い、様子を見ていましたが、日中は母親と子どもの2人きりで一日中家の中にこもっており、この2人以外の姿を見ることはありませんでした。

母親は1歳を過ぎる我が子がなかなか歩かないことを気に病み、また、以前、検診時に保健師から「子ども発達センター」に行くよう勧められたこともあり、子どもの発達のこと  
で思い悩んでいましたが、誰にも相談できずにいました。

このような状況を見ていた主任児童委員がある時、母子に「子ども園の「子育て広場」に一緒に行ってみませんか？」と提案しました。

始めは乗り気ではなかった母親も、何度も誘われるうちに気持ちが徐々に変化し、ようやく参加することになりました。

最初は母子ともに周りに馴染めず周囲の状況を伺っている状態でありましたが、子どもは次第に慣れて遊具で遊ぶようになっていきました。

2回目に参加した時、今までハイハイしかなかった子どもが突然立ち上がり、少しずつではありますが歩き始める行動をとるようになりました。

母親は今まで子どもの発達について悩んでいたこともあって、子どもの突然の行動にびっくりして「この子がこんなに歩くことができるなんて・・・」と涙ぐみました。

それから暫く経ったある日、交流館でママ友と仲良くおしゃべりをしたり、食事をしている母子の姿を見かけるようになりました。

主任児童委員が家庭訪問していた頃とは違い、地域の「子育てサークル」にも積極的に参加するようになって、母子共に表情も明るくなり、元気な姿が見られるようになりました。